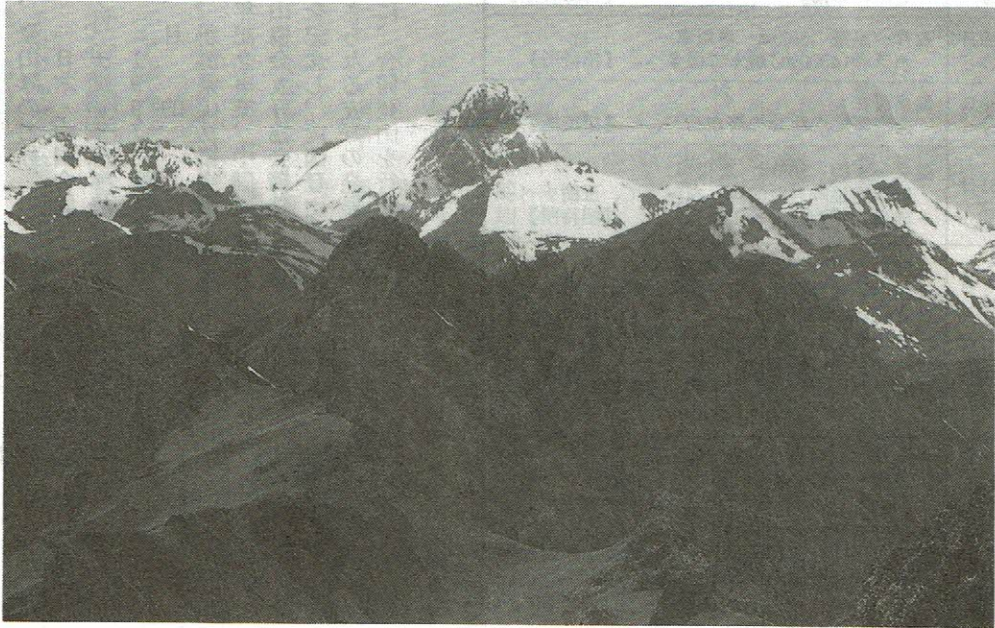


新山協ニュース

▲ 発行者 井出 秀雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835



新潟県山岳協会創立50周年記念事業

新潟県山岳協会・中国青海省登山協会兄弟結5周年記念事業

日本・中国合同 チアジャジマ峰登山

昭和22年6月に創立した新潟県登山協会は、第19回新潟県国体を契機に県下の各山岳会をはじめ、高体連、大学と大同団結により新潟県山岳協会と改称、組織を再編成して県体育協会の加盟団体として、社会体育の一翼を担い登山の普及、登山技術の指導、山岳遭難の予防と対策、更に自然保護の高揚など事業活動を推進してまいりました。

昭和30年代から日本の登山界の目は、ヒマラヤの高峰に向けられるようになりました。新潟県山岳協会も、これまでネパール、パキスタン、インド等のヒマラヤに遠征隊を送るとともに、環日本海の拠点都市として、特に韓国、中国、ロシアの国々とは、登山活動を積み重ねるなかで、韓国・昌元山岳会と姉妹山岳会を結び、また、中国青海省登山協会とは兄弟山岳協会の締結に伴い、より活発な交友と親善交流を図るべく活動として、将来の国際交流の担手で

ある、県内高校生と中国高校生の日中合同登山等を実施して、両国の文化、体育、経済の一層の発展を促進して参りました。

この度、新潟県山岳協会創立50周年記念事業の一貫として、最近、日本をはじめアセアン諸国で、最も関心の強いメコン川流域、そのメコン川源頭の調査と源頭に響える未踏峰で最高峰の曲阿加吉瑪峰(5930m)に登山隊を派遣することになりました。このメコン川の源頭地域の行政区は、中国青海省玉樹藏族自治州で外国人未開放地域であります。青海省登山協会と兄弟山岳協会の関係から、中国政府から特別の許可が与えられ入域が可能となりました。

標高4500mのこの地域は、交通アクセスの不便さから手つかずの自然が無限に残され、中国の空白地帯であり、今日に至る未知の領域であり、各界、各層からの期待は、極

曲阿加吉瑪峰登山日程

97年7月26日～8月23日

日次	月 日	行 動 内 容
1	7月26日 (土)	東京→北京 空路 着後、出迎えのガイドと共にホテルへ。 【天壇飯店】
2	7月27日 (日)	北京→西寧 空路 WH2126 (11:10/13:40) 便にて西寧着後、 ホテルへ。【青海賓館】
3	7月28日 (月)	西寧滞在 登山の準備。【青海賓館】
4	7月29日 (火)	西寧→温泉 352km 専用車 オラ峠(4300m)越えて温泉へ。【招待所】
5	7月30日 (水)	温泉滞在 高度順応のための滞在。【招待所】
6	7月31日 (木)	温泉→玉樹 505km 専用車 巴顔喀拉峠(5100km)を越えて、玉樹チベッ ト族自治州の首府・玉樹へ。【招待所】
7	8月1日 (金)	玉樹→賽月位 315km 専用車 途中、雑多經由、瑪日慶瑪口群山を越えて、 扎青經由で賽月拉へ。【招待所】
8	8月2日 (土)	キャラバン 約30km ヤクと馬を利用して曲阿加吉瑪峰の方へ。 【テント】
9	8月3日 (日)	キャラバン→BC 約30km 着後、BCの設営へ。【テント】
10 / 20	8月4日 / 8月14日	曲阿加吉瑪峰登山開始 約11日間の時間を利用して瀾滄江源頭地区 の未踏峰・曲阿加吉瑪峰(5930m)登山。 【テント】
21	8月15日 (金)	BC→賽月拉 約30km 徒歩 ヤクと馬を利用して賽月拉へ。 【テント】
22	8月16日 (土)	賽月位→雑多 約70km 専用車 往路と同じ道を辿り、雑多へ。【招待所】
23	8月17日 (日)	雑多→玉樹 245km 専用車 往路と同じ道を辿り、玉樹へ。【招待所】
24	8月18日 (月)	玉樹→温泉 505km 専用車 往路と同じ道を辿り、温泉へ。【招待所】
25	8月19日 (火)	温泉→青海湖 295km 専用車 朝食後、中国最大の塩湖青海湖へ。 【信越山庄】
26	8月20日 (水)	青海湖→塔爾寺 145km 専用車 中国ラマ教の大本山塔爾寺の見学へ。 【招待所】
27	8月21日 (木)	塔爾寺→西寧 26km 専用車 往路と同じ道を辿り、西寧へ。【青海賓館】
28	8月22日 (金)	西寧→北京 空路 WH2125 (14:20/16:30) 便にて北京着後、 ホテルへ。【天壇飯店】
29	8月23日 (土)	北京→東京 空路 帰国。

めて大きいものがありません。
この計画の策定に際しまして、新潟県山岳協会は、全組織を結集して取組み、環日本海の拠点県の行事として、ふさわしい行事と考えております。

新潟県の歴史と名譽のためにも、この趣旨にご賛同と、絶大なるご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

新潟県山岳協会創立50周年記念事業
実行委員長 藤井 信

登山計画の概要

一、登山隊の名称
日本・中国合同
チアジャジマ峰登山隊
1997

二、目的
新潟県山岳協会創立50周年記念事業、中国青海省登山協会友好協会締結5周年を記念し、両国登山協会のさらなる友好の発展のために、合同登山を行なう。

三、目 標
チアジャジマ峰の登頂

四、期 間
1997年7月26日
～ 8月23日
(29日間)



隊の構成

隊長 藤井 信
(新潟県山岳協会会長)

隊長 屈 銀華 (中国科
学探検協会特専委主任)

隊長 (連絡官) 高 成学
(中国青海省登山協会副秘書
長)

副隊長 (登攀隊長)
阿部 信一 (新潟県山岳協
会指導技術委員長)

副隊長 (マネージャー)
半谷 高紀 (新潟県山岳協
会)

隊員 (海外登山委員)
隊員 (会計) 中村 孝一
(高体連)

隊員 (記録) 松坂 良一
(日本山岳会越後支部)

隊員 (食糧) 水落 竜馬
(高体連)

隊員 (装備) 知野 勇人
(新潟山岳会)

隊員 (食糧) 山名 尚美
(新潟山岳会)

隊員 李 喜堂
(中国青海省登山協会)

隊員 (通訳) 朴 哲淵
(中国国際体育旅遊公司)

平成9年度北信越国体山岳競技での

健闘を祈る

国体委員長 森 庄 一

平成9年度の北信越国体が福井県で開催されます。

山岳競技は大野市で次の要項で実施されます。

大阪国体の出場権を得られるよう加盟団体、加盟員の多数の応援をお願いいたします。

一、期 日

平成9年7月25日(金)から

27日(日)まで

二、日 程

7月25日

集結地 福井県大野市

六呂師一六九

一八

福井県立奥越

高原青少年自

然の家

開始式

7月26日

午前 縦走競技 全種

別 荒島岳登山

コース

午後 クライミング競

技 青年 福井

市北体育館クラ

イミングウォー

ル

7月27日

午前 踏査競技 全種

別 経ヶ岳・六

呂師高原トレッ

キングコース

午後 一時 表彰式

福井県立奥越

高原青少年自然

の家

三、選手等

成年男子

(オープン参加) 三面

山岳会

長岡・高田

混成チーム

少年男子 新発田高校

チーム

少年女子 三条東高校

チーム

チアジジマ峰登山隊

壮行会開かれる

チアジジマ峰遠征出発の準備に追われていたが、

7月13日新潟駅前「福田」

に遠征隊を招いて壮行会を開催。30名近くの有志が出席。

平田大六副会長の司会で五十嵐篤雄名誉会長の挨拶、藤井信遠征隊長の挨拶、隊員の紹介、募金の贈呈、BSN放送からの支援装備の贈呈があり、

望月力参与から本事業の成功を祈り乾杯の音頭で盛大に壮行会が始まる。遠征隊員に激励と遠征の情報交換に時間はあつと言う間に過ぎ、遠征の成功を祈り石田国夫参与の万歳三唱の後散会となった。

出席者

遠征隊

藤井信、阿部信一、半谷高紀、

中村孝一、松坂良一、水落竜馬、知野勇人、山名尚美

五十嵐篤雄、内藤修、望月力、

石田国夫、鈴木敏雄、今成幸夫、平田大六、土田幸雄、井

出秀雄、杉本敏、坂井厚、片桐一夫、田辺信行、谷中隆明、

加藤利雄、渡辺富衛、横山征平、五十嵐昇、藤井洋、中村

武雄、東樹義雄、北村猛、加藤いずみ、遠藤家之進正和、

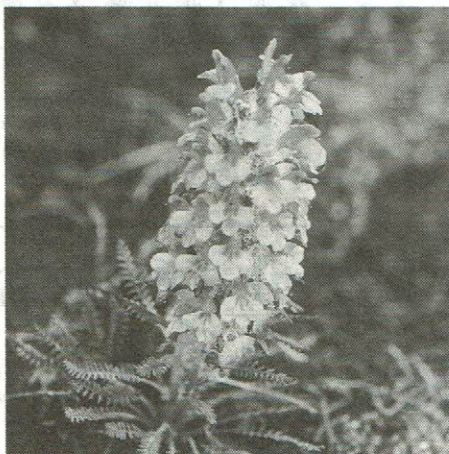
三富一弥、井上勇、塚本甲子郎

カムチャッカの高山植物 ②

むささび会 加藤明文

キタシオガマ (ゴマノハグサ科)

分布：極地 (日本には無い)



高さ15~20cm、花穂の幅5~6cmと大型、岩礫地に点々と立っている。花の形と葉の色は日本のタカネシオガマにそっくりであるが姿は全然別物、何よりもクモの巣状の毛をまとっているからかきこい、ここの山岳は強風が名物なのでその対策のひとつなのであろう。

全然資料の無い植物だったが、10年程前火山国カムチャッカの調査研究隊の報告書に変わった植物として写真と共に出ていた名前を使用させていただいたが正式な名前では無いと思う。

花の色：尖ったくちばしは濃紅色で花ピラは淡ピンク、全体として美しい花

自然保護研修会に参加して

高田ハイキングクラブ

山本 優子

5月24日～25日 北蒲原郡 笹神村において自然保護研修会が開かれ、初日は筑木先生の講演と参加された方々の地域に起こる環境問題・自然保護の問題について討議が行なわれ、翌日は雨のため予定を変更して三川村の將軍杉(天然記念物)と平等寺薬師堂



(重要文化財)、そして津川町の「狐の嫁入り屋敷」の見学の後、屋敷内で五十嵐新三氏の「イワナと仙人の約束」のビデオ鑑賞が行なわれるという二日間の日程でした。筑木先生の「自然保護活動の難しさ」という講演を聞いて、自然保護活動には自然保

護と環境保全の二つの問題があるということ、そして各地にみられる諸問題(公共事業による自然破壊やそこから起こる動植物への影響と、世界遺産条約により指定された建造物と指定地域の観光化による公害と自然保護との調和など)を幾つか例に挙げての説明と、それらの問題に対して現在どのような対策が取られているかという説明がありました。

そして自然保護活動には絶対に正しいという答えが無いらしく、試行錯誤しながら良いと思う方向で活動していくしか方法が無いという講演でした。

近年、山岳雑誌などに多くの登山者が及ぼす自然への影響が大きな問題になっているという記事がみられます。私にとって自然保護活動に対する難しいことはわかりません。

しかし、自然保護研修会に幾度か参加して、一人一人のモラルの向上が問われていることを感じました。

小さなことでも良いと思われる、できることから一つづつ実行していきたいと思いません。

参加者

講師 筑木 力

七沢恭四郎、福田亨、橋本正己、山本優子、本間一人、大塚宏栄、本多仁、須貝静郎、遠藤家之進正和、北村猛、多田正雄、伊藤直、今井恒雄、浜本賢治、坂井厚、渡辺靖男、堀井浩、佐藤総子、坂野雅之、小川馨、横山征平、松尾弘、高岡正博

24名



平成9年度8・9月専門委員会行事予定

日時	行事名	会場	担当
7.26~8.23	チアジャジマ峰(曲阿加吉瑪峰) 5930m	中国	50周年事業
8.13~	第52回大阪国体合宿	大阪府	国体
9.6~7	第7回中高年登山教室	長野県黒部山	中高年登山
9.18~19	日山協中高年安全登山講習会	石川県	中高年登山
9.	競技水準向上ヒアリング	新潟県庁	国体
9.	県山協海外登山研究会	中越地区	海外登山

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)